

町行政の現状と展望

人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまち へぐり

第66回奈良県吹奏楽コンクールで金賞を受賞した
平群中学校吹奏楽部の皆さん（令和6年8月）



令和7年1月



奈良県平群町

デジタル版
(カラー)はこちら



平素は町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本冊子は、町が取り組んでいる主な事業内容と財政等の今後の展望を住民の皆さまにお伝えすることで、住民協働のまちづくりを推進していくことを目的として毎年全戸配布させていただいております。

町の現状を知っていただくために、是非ご一読賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町は令和5年度に今後10年間のまちづくりの指針となる「平群町第6次総合計画」と人口減少対策や地方創生を目的とした「平群町デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体的に策定し、人口減少の緩和や持続可能な発展に向けて取り組んでいます。

人口の減少が続く中、これまで「幼保一体型認定こども園の開設」や「こども医療費助成範囲の拡大」をはじめとする子育て支援策にいち早く取り組み、「定住促進奨励交付金事業」や「結婚新生活応援補助金事業」等の移住・定住促進施策にも力を入れてまいりました。

その甲斐もあってか、ここ数年間は30～50代の社会増加が続いており、この状況を更に加速させるため、令和4年度にシティプロモーション等を行う「まち未来推進室（令和6年度より「まち未来推進課」）」、本年度からは子育てに関する窓口の一元化のために「こども支援課」を創設しました。

財政状況においては、依然として奈良県から「重症警報」が発令されておりますが、「財産の処分・活用」や「業務の見直し」、「総人件費の抑制」といった取り組みにより、財政の健全化を示す経常収支比率等の値は着実に改善しつつあります。

しかしながら、老朽化する公共施設の整備事業等が控え、財政状況は更に厳しくなると見込んでおり、これまで以上に気を引き締めて行政運営に取り組んでまいり所存です。

様々な課題を抱えながらも一つひとつ対処し、次世代へと繋がる持続可能なまちになるために、これからも町政の運営に対して、変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年1月

西脇 洋貴



序 章 平群町の人口について

第1章 住みたい・住み続けたいまちづくり

- 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり・・・・・・・・・・ p4
- 1-2 未来を担う子どもたちを育てるまちづくり・・・・・・・・・・ p7
- 1-3 魅力つたわる情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p8
- 1-4 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり・・・・・・ p9

第2章 住民の暮らしを支えるまちづくり

- 2-1 災害に強いまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p11
- 2-2 生活を支える公共交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p11
- 2-3 地域で支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり・・・・ p12
- 2-4 生きがいを作り出す生涯学習と文化活動・・・・・・・・・・ p12
- 2-5 環境への負荷の少ないまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・ p14
- 2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり・・・・・・・・・・ p15

平群町の人口について

国勢調査に基づく本町の人口は、直近の令和2年は18,009人と、平成12年の20,497人をピークに減少の一途をたどっています。

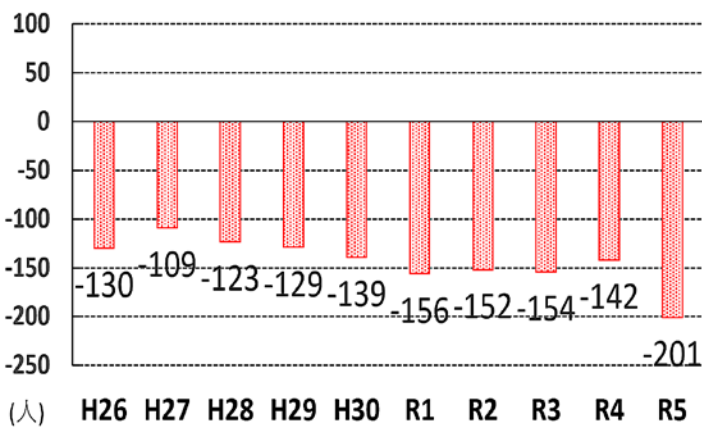
また、奈良県の推計人口調査から直近10年間の人口動態を見てみると、多くの年で100人～200人程度の人口が減少しており、令和5年は2番目に大きな減少となっています。

高齢化率の高い本町の特性もあり、出生数から死亡数を引いた値である「自然増減」については、毎年100人を超える減少が続いており、令和5年の減少数は200人を超えました。

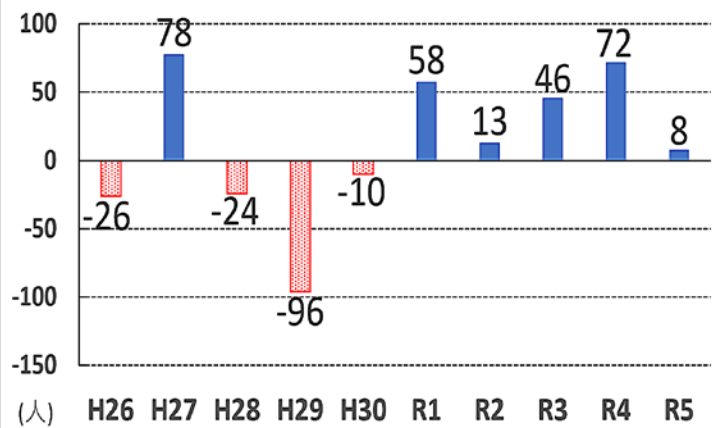
一方で、転入数から転出数を引いた値である「社会増減」については、前半の5年間は減少している年が大半でしたが、後半は全ての年で社会増加となりました。

高齢者の割合が多い本町の人口構造を考えると、自然減少の傾向は今後も続く想定され、人口減少を少しでも緩やかにするためには、特に若い世代を対象とした社会増加を目指すとともに、望む人が結婚から妊娠、出産、子育てをしやすいまちづくりを進める必要があります。

自然増減（出生－死亡）の推移



社会増減（転入－転出）の推移



出典：奈良県推計人口調査

1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり

子育てを応援する主な支援策

	主な支援策	概要	備考
1	結婚新生活支援	結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用（住宅の購入費、リフォーム費、引越費、家賃等の全部または一部）を条件を満たした方に支給。	最大30万円 ※夫婦共39歳以下、合計所得500万円未満等の条件あり
2	出産応援ギフト	新たに妊娠の届出をし、面談を受けた妊婦に対し支給。（妊娠届時に申請書類）	5万円
3	産婦健康診査助成	出産後の産婦への支援の充実を図るため、産婦健康診査の費用の一部を助成。	上限5,000円/2回まで
4	子育て応援ギフト	出生届後に面談等を受けた子を養育する人に対し支給。（町保健師訪問時に申請書類）	5万円／子1人
5	子ども/ひとり親/心身障害者医療費助成	令和6年8月受診分から現物給付対象年齢を拡大し、高校生世代まで県内医療機関の窓口負担無し。医療費自己負担額(保険診療分)全額を助成。	医療費の無償化
6	移住支援	奈良県内企業等の人材不足の解消及び平群町への移住・定住を図るため、東京圏から移住し、就業等の条件を満たした方に支給。	最大100万円 ※令和5年4月1日以降転入等条件あり

1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり

日常生活の全てを町内で完結できる町に

町内には、内科・皮膚科・歯科・小児科等、数多くの医療機関があり、困った時に通える環境が整っています。

また、今年度から来年度にかけても、主要幹線である国道168号線沿いには、ドラッグストアやスーパー等、多様なニーズに合わせた店舗が続々と開店を予定しています。

日常生活の全てを町内で完結でき、平群町に住む魅力の一つとなっています。



近隣市町と連携した行政サービスの提供（生駒市・三郷町）

■ 生駒市との相互利用

- ・ **スポーツ施設** ▶ 生駒市井出山スポーツ施設、むかいやま公園スポーツ施設が利用可能
- ・ **図書館** ▶ 生駒市図書館が利用可能。（借りた本は同市のどの図書館でも返却可）
- ・ **し尿処理施設** ▶ 生駒市のエコパーク21で処理

■ 三郷町との相互利用(スポーツ施設)

- ・ **FSS35スポーツパーク**
 - ▶ 中学生以下は三郷町内料金で利用可能（バスケットコート・BMXパーク・スケートボードパーク）



民間事業者と連携し、子育て支援事業を拡充

平群町初の民間こども園【レイモンド平群こども園】が、令和6年4月に旧南保育園跡地（西宮1丁目）に新たなこども園として開園されました。町内こども園3園で多様な子育てニーズに対応しています。



【定員】

- 1号認定 15名
- 2・3号認定 70名

【保育時間】

- 短時間 8:30～16:30
- 標準時間 7:30～18:30
- 1号認定時間 8:30～14:30

子育てを支える体制を整備

■ こども支援課の創設

令和6年4月より、福祉こども課を「こども支援課」と「福祉課」へ組織の編成を行いました。子どもに関する申請や相談の窓口を一元化し、充実した支援体制の構築に取り組んでいきます。

■ こども家庭センター

令和6年4月から、プリズムへぐりの「子育て世代包括支援センター(母子保健型)」と「こども家庭総合支援拠点」が一体となり「こども家庭センター」となりました。

役場や関係機関と連携し、妊産婦、子育て世代、ヤングケアラーの子ども自身等、個々の家庭に応じた切れ目のない支援で、町の相談支援体制の強化を図ります。

1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり

子育て世帯に人気の子育て支援センターの取り組み

■親子参加の子育てイベントを通じた交流

お誕生日会・おもちゃ病院・おでかけ広場・あつまれ0歳！等、親子で参加できるイベントを各種開催しています。

また、子育てサークルへの場所の提供もしており、町内在住の親子が育児情報の交換等ができる環境づくりに取り組んでいます。



■ママだけでなく、パパ向けの子育て講座も開催

1歳未満の子を持つ両親を対象とした「Let's Enjoy パパ！」や子どもと関わりがある方向けの講座「子育てってそれでいいんだよ」等を定期的に開催し、家族みんなで子育てする機運の醸成を図っています。

■育児グッズの“無料”貸出

子ども服のリサイクル、絵本・育児雑誌・リサイクル育児用品の貸出等を行っています。ベビーベッド・ベビーバスや、一時的に使用する育児グッズ等もあり、多くの方にご利用いただいています。



役目を終えた家は『空き家バンク制度』で次の世代へ

■空き家は適正な管理が必要です。

町内の空き家は310件（令和5年7月末時点）確認しています。

空き家の管理は所有者等（所有者または管理者）の責務であり、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないようにしなければなりません。

空き家の適正な管理を怠ると、建物の老朽化による屋根・外壁の飛散や倒壊の危険性、不法侵入や放火の恐れ等、安全、衛生、防犯、景観の面から様々な問題が発生します。

また、他人に損害を与えた場合は、所有者等が損害賠償等の管理責任を問われることがあります。

■管理不全な空き家の情報提供をお願いします！

ご近所や自治会で所有者等の連絡先がわからない、管理不全な空き家の情報提供があった場合、町で所有者等の調査を実施し、所有者等に適正管理を促しています。

■空き家バンクへの登録をすすめています。

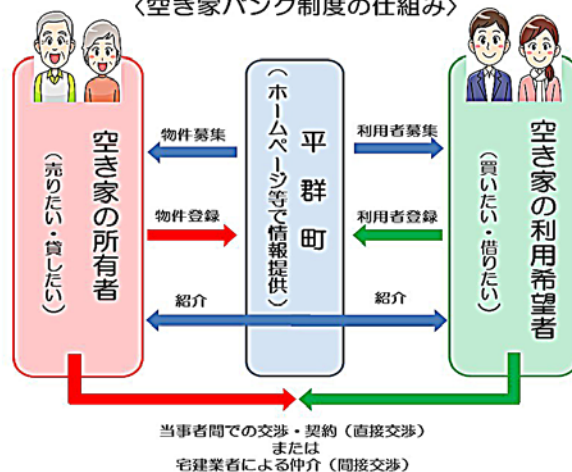
「空き家バンク」とは、町内の空き家を「売る」「貸す」ことを希望している所有者から、空き家バンクへの登録申込を受けて、その空き家の写真や間取りを町のホームページ等で公開し、お住まいをお探しの方に情報提供するサービスです。どうぞお気軽にご相談ください。

空き家の利用希望者に対して
登録物件が不足しています!!

＜空き家活用状況＞（R6.10.30現在）

	計
空き家登録数	21
利用希望者数	203
成約数	24

＜空き家バンク制度の仕組み＞



空き家バンクへの登録方法等、
詳細はホームページをご覧ください。

1-2 未来を担う子どもたちを育てるまちづくり

子どもたちに英語を楽しむ機会を

ALT（外国語指導助手）を町立こども園及び小中学校に配置し、幼少期からネイティブスピーカーの発音や英語教育に触れることで、国際感覚を身につけ、学ぶ意欲を育てています。



快適で安全な学校生活の整備

■平群中学校改修工事に係る実施設計業務の完了

令和6年度に中学校の改修工実施に向けた設計業務が完了しました。

引き続き、子どもたちが安心して学べる環境の整備を進めます。

■平群中学校吹奏楽部に楽器を購入しました。

ふるさと基金を活用し、鍵盤楽器の「シロフォン」と「マリンバ」を購入しました。

平群中学校吹奏楽部は令和6年度の県大会で見事に金賞を受賞し、関西大会に出場されました。



鍵盤打楽器の「シロフォン」と「マリンバ」

■保育・教育施設の主な整備状況

- ・平群北小学校▶3階音楽室の内装改修（LED化と床張替え）
- ・平群小学校▶老朽化した遊具の更新
- ・平群南小学校▶校舎西側玄関ポーチの改修



平群小学校に設置された複合遊具

時代の流れに沿った教育を子どもたちに

■へぐりこどもサミット

～自分も地域も守れる防災マイスターになろう～

町内各小・中学校の児童・生徒、一般の方や教職員が参加し、防災クイズ等を通して、防災への関心を高め、「自助・共助・公助」の大切さを知ることができました。

■金融リテラシー授業の実施

第一生命保険(株)より講師を招き、平群中学校の3年生を対象とした金融リテラシー授業を実施しました。金融教育や消費者教育に加え、ゲームを通し人生で必要なお金に関することを知り、働くことや仕事の魅力を学びました。



へぐりこどもサミット

子どもたちの健やかな成長のために

ライフスポーツ財団「子ども活動支援金」を活用して、町立こども園の3歳児（年少）の運動遊びを実施しています。

マット・ボール・鉄棒等様々な運動遊びを通して、いろいろな動きを楽しむことで、これから先に会えるあらゆる運動やスポーツにも、意欲を持って取り組める力を育てています。



1-3 魅力つたわる情報発信

町の取り組み等を多くの方に伝えるために

■親しみのある「広報紙」作り

夏秋期生産量日本一の平群町の特産品「平群の小菊」。住民の皆さまにもっと知ってほしいという思いから、小菊の収穫から出荷までの様子やブランド力を維持する市場や生産者等の努力について、職員が見学・小菊農家等へ取材し、特集を掲載しました。（令和6年9月号）
広報紙は、公式LINE「広報紙カラー版」でもご覧いただけます。



■公式LINEでの広報トピックス・子育て情報等の配信開始

広報トピックスや子育て情報・健康教室等、町内の皆さまに広く知っていただきたい行事やイベントについての配信を開始しました。
また、リッチメニューもリニューアルし、気象情報や手続き案内・各課への問い合わせ等にすぐアクセスすることが可能です。
ぜひ、友だち追加をお願いします。



皆さんの思いを町政に反映するために

■町政へのご意見・回答をホームページに公表

令和6年度より、住民の皆さまからいただいた町政への主なご意見・町からの回答について、町のホームページ上で公表を開始しています。
今後も、住民の皆さまに広く知っていただくべきご意見等に関しては、公表していきます。



町政へのご意見 HP

■行政出前講座をご活用ください

住民の皆さまに行政の取り組みについて説明する機会、また意見交換の貴重な機会として出前講座を実施しています。
「防災」や「福祉」等ご興味のあるテーマを指定いただければ、町職員が皆さまのもとに出向いて町の取り組み内容等をご説明します。
ぜひ、お気軽にお申し込みください。（自治会や各種団体でのお申込み）



行政出前講座ご案内

◆主なテーマ例

- ・防災（自主防災組織）・環境問題（ごみ）・医療制度・税制度
 - ・健康づくり・福祉・文化財・都市計画 その他はHPに掲載
- ※テーマ以外にもご要望に応じた講座のご相談を受け付けています。

<実施件数>

R6.10.30現在

	R4	R5	R6
開催件数	5	4	9

町の魅力を伝えるシティプロモーション活動

■動画制作

・子育てPR動画「ママ♡ファーストへぐり」

平群町で子育てをしているママが町の魅力やお気に入りの場所、子育て支援施策等を紹介するPR動画を作成しました。

町内施設にポスターやチラシの掲示を行い、町内外のイベント参加者等に向けてPRを行っています。

また、令和6年度から若者層の転入増加を目的としたTikTokの運用を開始しました。



町HP



ママ♡ファーストへぐり

■公共交通機関で広告掲載（ポスター、デジタルサイネージ）

令和5年度の近鉄電車主要駅での広告掲載（結婚新生活支援事業）に加え、今年度は、町の魅力をPRする広告掲載を奈良交通バスで実施する等、町内外の子育て世帯に対してPRを行っています。

1-3 魅力つたわる情報発信

平群ファンを増やすために

■フォトコンテスト

「#へぐりフォトコン2nd」を実施しています。平群町の魅力の発信と愛着の醸成を目的に「私のお気に入り in へぐり」をテーマに写真を募集しています。皆さまの応募をお待ちしています。
※応募期間（令和6年8月1日～令和7年1月10日）



応募詳細



観光
Instagram

■古都華フェめぐりinへぐり ハッシュタグキャンペーン

2月に開催予定のスイーツフェアと連動して、古都華にまつわる写真を投稿していただくハッシュタグキャンペーンを1～2月に実施します。ハッシュタグを活用することで、多くの方へ平群町産古都華の魅力を発信することができます。

1-4 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり

貴重な歴史資源を後世に

■保全活動と各種団体との連携

吉新の旧家に所蔵される明治時代以降の古文書等の整理作業を実施しています。専門課程を履修する大学生や、「文化財調査サポーター養成講座」受講生の協力を得ています。

そのほか「平群史蹟を守る会」・「平群町観光ボランティアガイドの会」・「信貴山城址保全研究会」と連携し、平群町の文化財資源の保全活動に取り組んでいます。



古文書の整理作業

■ふるさとの歴史を学ぶ出前授業を実施（平群小学校）

教育委員会と観光産業課の職員がゲストティーチャーとして授業に参加しました。（令和6年9月）

「文化財」「観光資源」としての椿井城跡という2つの観点から整備や発掘調査等の取り組みについて授業を実施しました。

子どもたちは“私たちになにができるか”について、今後も話し合い、理解を深めていくとのことです。



ふるさと納税～町外から想いの詰まった寄附金を募集しています～

「平群町を応援したい」という想いの詰まった寄附金を全国の皆さまからいただくために、ふるさと納税の募集に力を入れており、令和5年度は過去最高のふるさと納税寄附額となりました。

しかしながら、町外への寄附額は平群町への寄附額を上回っています。

■返礼品ランキングベスト3（令和5年度実績）

- 1位は県内トップの栽培面積を誇る「古都華」
- 2位は無農薬・無肥料の玄米を寝かせた「酵素玄米」
- 3位は様々な品種を揃えた「ぶどう」が選ばれました。

■寄附金の使い道

寄せられた寄附金は、小中学校・こども園等の遊具の改修等の子育て・教育関連や、平群ブランドを活用したメニューの開発等、魅力溢れる平群町のまちづくりに活用いたします。
皆さまの応援をお願いします。

<令和5年度ふるさと納税寄附件数・金額>

単位：万円

寄附先	区分	件数	寄附額
平群町	企業版	4	640
	個人版	3,623	5,681
町外	個人版	1,347	10,426



返礼品ランキング1位「古都華」

1-4 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり

平群ブランド／特産品を活用した地域振興

平群らしさを育むものとして「平群ブランド」を制定しています。
現在、農産物4名3団体、加工品5品目、文化財等地域資源2ヶ所を認定しています。
ふるさと納税でも多くの寄附者に喜ばれている古都華を使用して、2月に「古都華の聖地」というイメージの更なる発信に向けスイーツフェア「古都華フェめぐりinへぐり」を開催予定です。
町内の7店舗が新たに開発したメニューとともに参加します。



「古都華フェめぐりinへぐり」参加店舗	
①	Salt
②	Boulangerie Bon Pain
③	イタリアンジェラート&パスタ専門店 mamma
④	komorebi-garden
⑤	インフィオラーレ
⑥	フランス菓子 スーリール・ダンジュ平群店
⑦	あさちゃんカフェ

道の駅大和路へぐり くまがしステーションの取り組み

■道の駅「大和路へぐり」から地域創生

国、県が推し進める「道の駅を地方創生、観光の加速拠点に、そして世界ブランドに!」に呼応し、ブランド力の高い平群の地域資源を活用して、未来へ継承、発展を目指しています。

官民連携、協働による様々な取り組みの結果、県内外の来訪者、SNS、テレビメディアから注目されました。香港テレビ、読売テレビ等の各報道機関からの取材は、年間50件以上あり、今、道の駅「大和路へぐり」は、あらゆる世代の交流ネットワークと賑わいの拠点になっています。



香港テレビ取材風景

■売り上げは年々飛躍的に上昇、古都華は海外からも注目

平群産農産物を中心に「とれたて市」の産地直売、県内産ブランド商品、レストランhanana、できたてスイーツ工房等の令和5年度売上決算額6億円。(対令和2年度決算比1.41倍)

平群産古都華は、香港、韓国等から注目され、イギリスの高級百貨店ハロッズのバイヤーから商談等があり、ワールドワイドになっています。

一方、生産者の高齢化と担い手不足により、農産物の量、品数の減少、及び質の低下が懸念されています。

課題克服のため、道の駅大和路へぐりが核となって地域ぐるみの6次産業化も軌道に乗り、持続可能な安定経営の支援をしています。



旬の賑わい

■愛と賑わいのあるふれあい広場に多目的広場(ペット&防災)

を拡張整備

平群町の四季折々の自然の魅力を味わえる憩いの場である「ふれあい広場」。ペット同伴来訪者の増加と各地で自然災害が続いている中、防災用多目的広場として拡張整備し、県内外からの来訪者を温かく迎えています。



古都華の平群プレミアム

■道の駅大和路へぐり四季フェスタの開催

幅広い層の集客と賑わいを創出する「道の駅大和路へぐり未来プロジェクト」を推進し、四季フェスタを実施しました。春、夏、秋フェスタで奈良大和路仏像ポスター展を行うと共に夏・秋フェスタでは、奥吉野の野迫川村と交流し、ふれあい広場でアマゴの塩焼き等を販売し、平群、及び県内の魅力を発信しました。



アマゴの塩焼き

2-1 災害に強いまちづくり

日頃からの地震への備えを

■防災備蓄品の確保と防災協定の推進

水や食料・衛生品等の防災備蓄品を町指定避難所等で分散備蓄し、災害時に迅速な対応ができるよう努めています。

また、物資の供給や施設の応急復旧のため民間企業36社および行政機関9団体と防災協定を結び、防災力の強化に努めています。



■自主防災組織(結成30団体 結成率89.3%)

災害発生時に大切な「命」を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「共助」の要である地域自主防災組織の結成を支援しています。また、防災研修会として行政出前講座を開催しています。

■地域防災計画やペットに関するマニュアルの作成

土砂災害や地震を想定した地域防災計画と防災ハザードマップの周知徹底を行っています。ペットを飼っている方は「避難所におけるペット対応マニュアル」もぜひご確認ください。



防災意識を高めるために

■職員訓練「救命講習会」を実施

職員の防災意識の向上及び円滑な救助活動に関する知識取得を目的として、「AED」を使用した心肺蘇生法等を学びました。(令和6年5月)
今回の訓練を生かし、迅速な救助活動に取り組めるように努めます。



■消防団情報収集部隊(H.F.D.C)を結成

ドローンを活用して、災害の現地調査の情報収集を行うことを目的とし、令和6年4月に消防団情報収集部隊(H.F.D.C)を結成しました。

H.F.D.Cは、Heguri Fire brigade Drone Corpsの略で、広範囲におよぶ火災等の二次災害の防止を念頭に置き、早期災害状況の把握に努め、活動しています。



■消防や警察と連携した防災訓練(令和6年2月)

共助の普及啓発・推進のため、防災訓練を実施しました。

講演会には、気象予報士の正木さんと北淡震災記念公園総支配人米山さんをお招きし、共助のまちづくり、震災の体験談について講演いただきました。

屋外訓練として、自衛隊の炊き出し訓練や緊急車両展示等、防災意識を高めることを目的として開催しました。



2-2 生活を支える公共交通

■デマンド型乗合タクシー(高齢者の移動支援策)

いつまでも元気に生活ができる移動手段として令和3年10月より運行しています。

(対象: 65歳以上の方)

令和6年4月から町内全域および近畿大学奈良病院(往路のみ)への乗り入れが可能になりました。



2-2 生活を支える公共交通

■コミュニティバス事業

①住民の健康維持 ②通学支援 ③観光支援(地域活性化)等を目的に、2ルート(西山間・南北循環)で運行しています。

令和6年6月・11月には、地域住民への外出支援を目的に無料乗車を実施しました。



■エヌシーバス(株)路線バスの運行維持について

町内におけるバス利用者は年々減少し続け、路線バスの「平群住宅線」は年間赤字額が20,000千円を超え、現在運行している2路線「平群住宅線及び近畿大学奈良病院線」の継続が厳しい状況です。

町内のバスネットワークを今後も継続できるよう、平群町からエヌシーバス(株)へ財政支援を行い、現在の利用状況に合わせた運行計画で維持できるように検討しています。

今後もバス利用者の減少が続くと、再編・廃止問題が生じてきます。

お出かけの際は、路線バス等の公共交通機関のご利用のご協力をお願いします。

2-3 地域で支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり

みんながいきいき暮らせる便利なまちづくり

■マイナンバーカード作成サポート

窓口では写真撮影(無料)やマイナ保険証への登録等、各種サポートを行っています。また、偶数月の第1日曜日に「マイナンバー休日窓口(予約制)」を開設しています。

なお、マイナンバーカードがあると、コンビニで住民票等を取得できます。未作成の方はぜひ作成をお願いします。

(令和6年10月末時点:平群町保有率76.9%)



■戸籍謄本の広域交付スタート

令和6年3月より、本籍地以外の役所でも戸籍謄本が交付できるようになりました。

(直系親族に限る、写真付身分証の提示要、本籍地を正しく記入できること)

※役所によって受付時間が異なる場合があります。

■がん患者の補整具の購入費用の助成

がん患者の皆さんの治療に伴う心理的・経済的負担をやわらげるとともに、社会参加を応援し、療養生活の質が向上することを目的とし、ウィッグ及び乳房補整具の購入費用の一部を助成します。

2-4 生きがいを創り出す生涯学習と文化活動

子どもから大人までが楽しめる様々な取り組み

■平群駅前イルミネーション

平群町駅前広場等のにぎわい創出のため、商工会の主催で駅前広場のイルミネーションを実施しました。

(令和5年12月1日から令和6年2月15日)

今年度は、12月8日から3月2日まで実施しています。



■TEAMパフォーマンスラボ×ガチャピン・ムックの

サーカスエコロジカル

SDGsの目標年次までの振り返りを迎え、「未来を担う子どもたちに改めて地球環境のことを考えて欲しい」という想いから、宝くじの助成による特別公演「サーカスエコロジカル」を開催しました。チケットは完売し、多くの子どもたちが来場してくれました。(令和6年1月)



2-4 生きがいを創り出す生涯学習と文化活動

子どもから大人までが楽しめる様々な取り組み

■第13回へぐり時代祭り（4月29日）

時代行列のルートを文化センターと役場の往復のルートに変更する等、よりお祭り会場の一体感が出るように工夫を凝らして実施しました。

平群駅前には前年同様歩行者天国とし、模擬店・出店舗も第12回を上回る92店舗となり、多くの来場者を楽しんでいただくことができました。



へぐり時代祭り

■オータムフェスタへぐり2024（10月26日～11月5日）

農業振興並びに芸術文化の振興を図るとともに、地域コミュニティの醸成を目指すことを目的に、収穫祭と文化祭を一体化した、「オータムフェスタへぐり2024-秋の収穫祭&文化祭」を開催しました。



演技発表



主産物共励品評会

平群町総合文化センター ～住民のコミュニティの拠点～

会議室 ・ 研修室	定期的に文化・芸術活動等を行うクラブ、会議・健康体操・学習会・イベント等の控室等多目的に利用されており、文化交流の拠点となっています。また「自習スペース」として空いている部屋を無料開放しています。(対象：小学生以上)
展示スペース	町内のグループ・個人の作品や活動紹介、地域、文化財の情報等を展示しています。
くまがしホール	講演会や演奏会、ダンス発表会等、多くの団体が利用されています。
どんぐり広場	住民参加によるイベント(マルシェ等)が開催され、賑わいを創出しています。
図書館	生涯学習の拠点として、まちの案内コーナーも併設し、地域の情報収集発信機能も備えています。子ども読書活動推進の一環として、本やおはなしに親しむため、「なつやすみとしょかんひろば」開催しました。 又、図書館の資料を利用しながら、グループでの学習・調査研究に使えるスペースとしてグループ学習室を無料開放しています。



総合文化センター外観(入口右：図書館)



くまがしホール(なつやすみとしょかんひろば)



どんぐり広場(マルシェ)

平群町総合スポーツセンター ～健康と様々なスポーツの拠点～

メイン・サブ アリーナ	プロ・アマチュア問わず、数多くのスポーツ大会やイベントの会場にもなっており、本格的なスポーツから日ごろの健康づくりまで幅広い用途で多くの方々に利用されています。
トレーニング室	マシン等の定期的な入替えや機器使用に関する講習会を通じ、健康増進のため多くの方が利用されています。



2-5 環境への負荷の少ないまちづくり

ごみ減量対策 ～みなさんのご協力が不可欠です～

■年間の可燃ごみ排出量は、なんと25mプール26杯分！（4,700t）

排出される可燃ごみの半分以上が「紙・布類」です。可燃ごみが増えると、ごみの焼却にCO₂が排出されたり、ごみの運搬にも多量のエネルギーを使い、地球温暖化等の環境問題につながります。

紙ごみを削減するために

- ・新聞雑誌や空き箱は、潰してから町内リサイクルステーションや集団回収へ
- ・きれいな状態の服・漫画・カバン等はリサイクルショップで買い取ってもらえる場合があります。

町内3か所のリサイクルステーションをご活用ください！

ダンボール・新聞紙・雑がみ等のリサイクルを推進。食器の回収もしています。

北部



（音の花温泉付近）

中央

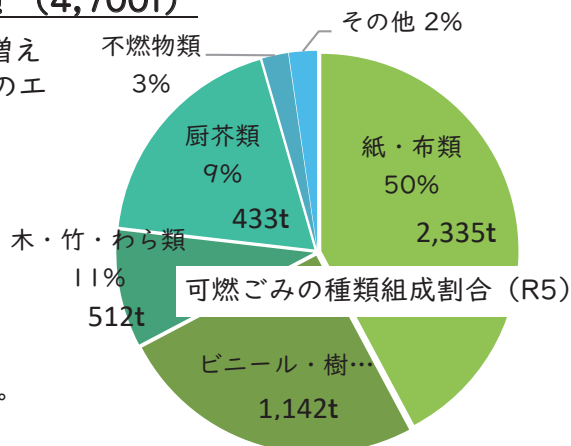


（役場東駐車場内）

南部



（椿井交差点北西）



生ごみは「ポイする前にギュッとひと絞り」

- ・お茶パックや生ごみ等を水切りすると重量を約10%減らせます。
- ・水分が少ないごみは、燃やしやすいため、燃料を大幅に節約できます。

捨てないで！野菜や果物「皮にも栄養」

- ・残留農薬の不安がないものは皮も食べてみましょう。むく手間も省けます。
- ・「皮ごと食べられる果物」や「〇〇の皮レシピ」等と検索してみましょう。

生ごみを減らすためには？

■プランターDEキエーロ（土の力で分解）をおすすめします！

環境保全推進員(エコリーダー)やモニターのご協力により、生ごみ削減の実証実験中です。

メリット：匂いが少なく、虫がわきにくい
肥料として使用可能
維持費がかからない 等

ご利用については、住民生活課にお問い合わせください。



土に生ごみを埋めると、土の中にあるバクテリアが生ごみを分解します。



庭でもベランダでも設置可能な簡易タイプ

■「第9回ごみ減量フェスタ」を開催（令和6年5月）

住民代表（エコ連絡会）共催により、住民協働の「ごみ減量フェスタ」を開催。約900人もの方に参加いただきました。今後ともごみ問題について関心を持っていただけるよう、取り組んでいきます。

【主な開催内容】

フードドライブ、こども用品交換市、陶器交換市、生ごみ処理機展示コーナー、堆肥・ゴーヤの苗無料配布、エコ工作教室、おもちゃの病院等
・SDGsクイズ

2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり

3億1,396万円 の黒字決算（令和5年度一般会計）

一般会計

1年間で町に入っ
たお金（歳入）
81億7,603万円

=

1年間で町が使っ
たお金（歳出）
78億5,162万円

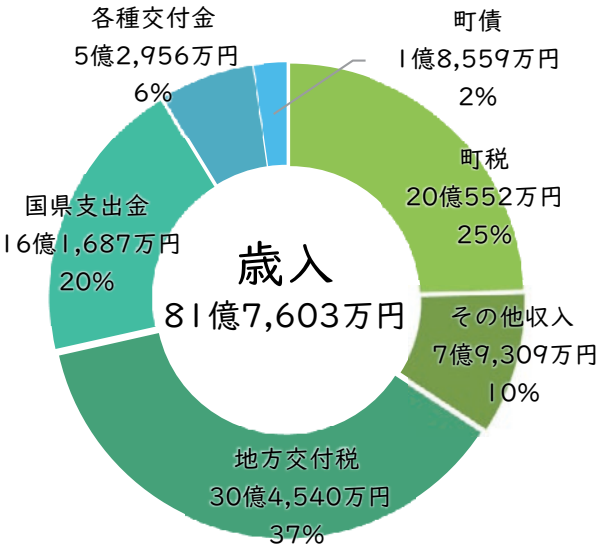
=

翌年度への繰越
1,045万円

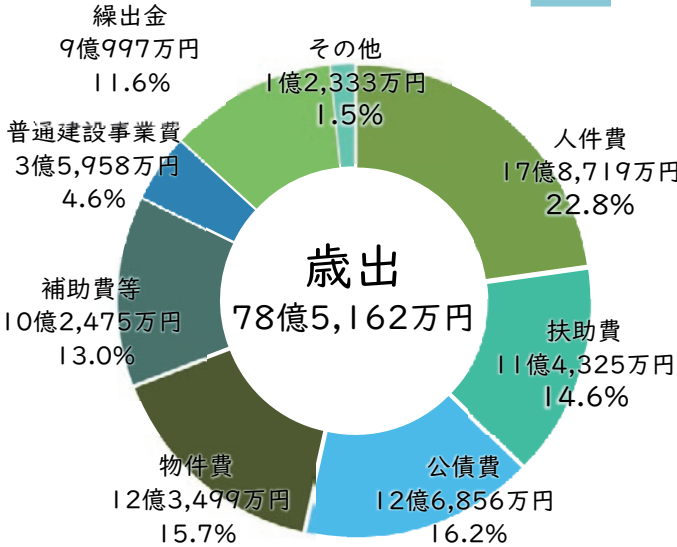
=

3.1億円の
黒字

歳入総額 81億7,603万円
（令和4年度：77億462万円）
昨対比 4億7,141万円増



歳出総額 78億5,162万円
（令和4年度：72億9,182万円）
昨対比 5億5,980万円増



令和5年度主要事業

※ 決算の詳細は、町ホームページをご覧ください。



生活支援対策（総事業費：1億1,023万円）		
生活応援クーポン配布事業 （6,152万円・クーポン券3千円配布）	こども園・学校給食費の無償化 （2,035万円・3か月）	水道基本料金無償化 （2,836万円・3か月）
その他の事業		
○子ども等医療費無償化制度の充実…6億5,038万円 ○子育て世帯の移住・定住促進事業…1,969万円		
○こども園管理運営事業…4億4,148万円 ○幼児教育・保育無償化事業…2,512万円		
○小中学校管理運営事業…1億2,556万円		

緊急財政健全化計画の取り組みによる財政指標の変動

財政指標（自治体の財政状況を測る数値）	R1	R2	R3	R4	R5
経常収支比率 R7決算目標値94%以下 （収入で支出を賄えているかを表す数値）	99.9	95.7	89.9	90.5	88.4
実質公債費比率 R7決算目標値15%以下 （返済額の負担度合を表す数値）	16.1	16.7	16.0	14.4	12.7
将来負担比率 R7決算目標値140%以下 （負債の規模を表す数値）	241.3	222.8	183.3	156.7	140.7

2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり

まだまだ厳しい財政状況（支出増↗収入減↘）

令和5年度も、昨年度に引き続き、職員給与カットや地方債の繰上償還等の歳出削減と町有地の売却や税収入等の確保等の歳入拡大に取り組み、財政健全化に努めました。

■しかしながら・・・

今後の見通しとしては、歳入予算の約3分の2を占める町税と国からの普通交付税は、人口減少等に伴い、減っていくことが見込まれます。

一方で、老朽化施設の改修工事（普通建設事業費）や借金の返済（公債費）や福祉に係る扶助費等の歳出予算が大幅に増加し、更なる財政難に直面すると予想されます。

収入（町税・普通交付税のみ）



支出（普通建設事業費・公債費・扶助費のみ）

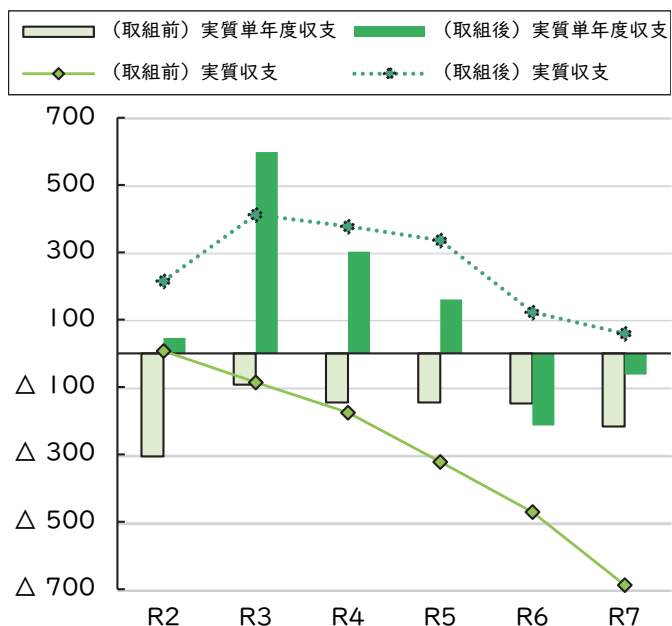


県と連携した財政健全化に向けた取り組み

奈良県から発令されている「重症警報(令和6年度発令中)」に対応し、令和3年から「緊急財政健全化計画」を推進しています。令和5年度までの早期集中プランの成果により、財政状況は取り組み前から改善されていますが、全国水準・県内水準と比べるとまだまだ健全な財政状況とは言えません。

令和6年度からは中期対応プランとして、将来の財政運営も見据えたうえで、引き続き奈良県と連携しながら、財政健全化に向けた取り組みを実施しています。

財政シュミレーション



◆財政健全化取組前後想定収支予想

単位：百万円

取組前	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実質収支	7	△86	△176	△322	△471	△688
実質単年度収支	△306	△93	△146	△146	△149	△217

財政健全化への取り組みで
改善を目指します！

取組後	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実質収支	215	412	377	336	122	59
実質単年度収支	46	598	302	160	△214	△63

◆実質収支

収入と支出との実質的な差額をみる数値で、収支から翌年度への継続費や繰越費等の財源を差し引いた額。

◆実質単年度収支

単年度収支から、実質的な黒字要素（財政調整基金への積立額及び地方債の繰上償還額）を加え、赤字要素（財政調整基金の取崩し額）を差し引いた額。

編集・発行

奈良県 平群町

TEL 0745-45-1001 FAX 0745-45-6619
URL <https://www.town.heguri.nara.jp>
メール info@town.heguri.nara.jp

ご意見をお持ちの方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。
お寄せいただいたご意見に対して個別に回答はしませんが、今後の行政運営の参考とさせていただきます。